

『一生懸命』幻の新座市議会報告第67弾!



たかむらともや

2011年 4月 31日発行

③ 南相馬市

4月6日(水)の早朝。僕と田中幸弘(前回の市長候補)は中山(北野在住)さんと共に3人で南相馬市に向けて出発しました。"原発の影響でドライバーが行きたがらず、深刻な野菜不足になっている"との情報が入ったからです。僕らは2トラックに一杯の野菜を積み込んで、南相馬市の原町区福祉会館を目指しました。そこは災害ボランティアセンターになっていて、登録しているボランティアは100名程度。常時30~50人のボランティアが6~7班に分かれて、避難ができない(しない)在宅老人家庭に対しての宅配支援をしていました。



写真はトラックに野菜を積み込んでいる田中幸弘(左)と中山さんです。



写真は南相馬市の災害ボランティアセンターです。全国からの支援物資を見ながら、現地のボランティアの方と今後の支援活動の方向性を相談している僕と中山さんです。今回の地震、津波、原発の影響で、7万人の人口が2万人になってしまったのですから大変です。



国道6号線の海側には沢山の船が打ち上げられていました。この場所から海は全く見えません。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男」です。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。7年から理科の教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。黒目川川づくり懇談会」代表。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、最近では「インターネットテレビ」に出演。議員日記は7年と2ヶ月毎日更新。アクセスは14万8千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん



たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

☹️ 統一地方選

「こんな時に選挙じゃないでしょう!」そういう声も耳にします。僕も最初はそういう気持ちがありました。しかし、実際に東北に行ってみて・・・それは違う!」と思ったのです。東北の被災地では本当に選挙どころではありません。学校へ行きたくても行けない子ども達もいます。働きたくても働けない人達が山ほどいるのです。僕らは幸せです。仕事ができるし、住む家もあります。家族もみんな揃っています。子ども達は毎日学校へ行き、学ぶことができます。そして、僕達は選挙もできるのです。選挙ができるのに、そんな気分じゃないというのはおかしい。選挙ができるという幸せをかみ締めて、選挙に燃える。それが一番大事な事なんだ。そう思うようになったのです。



横浜市議会選挙では友だちの応援に行きました。鶴見の駅前で大声で叫んで・・・当選しました!

☹️ 完全無所属

僕が応援するのは完全無所属ばかりです。もう既成政党には期待しません。自分の頭でものを考える人が議会にいないと、地方議会の存在価値がなくなると僕は思っています。何でも市長のいいなりでは、議会などいりません。(市長提出議案が全部駄目だと言っているのではありませんよ。100%賛成はないでしょうと言っているのです。)議員定数削減で組織票のない本当の無所属は議席の獲得は厳しくなっています。そうすると組織の後押しのある候補だけが当選していく。僕らには組織の応援がありません。(ないから自由にものが言えます。)あるのは、市民のみなさんの応援だけ。だからこそ、完全無所属で頑張りたいのです。



写真は相馬市内の避難所で現状と課題を確認している田中幸弘(左)と中山(隣)さんです。僕達は市の職員でも、県の職員でもなくボランティアの若者達から情報を得ました。市の職員も、県の職員も避難所の実態を知らなかったからです。市と県の職員は交代制で現状を掴んでいませんでした。一方ボランティアの若者達は24時間、避難所に張り付いているので、避難者達に今、何が一番必要なのか、よく理解していました。ここの野菜不足も深刻で、巡回していたお医者さんからも「食事の改善」を求められていました。我々のチームは福島県の南相馬市、相馬市、そして宮城県の石巻市、女川町などに支援物資を運び、炊き出しをし、泥かきをしてきました。そして、これからも継続的に支援していくことにしています。東北各地に全国から集まった、熱い人達がボランティア活動しています。彼らを市の臨時職員として雇い、権限と責任を与えてボランティア活動をより機能させていくことが大事だと思います。そういう人件費にも義援金を当てたいものです。

☹️ そして消費税

菅政権はこの震災復興をきっかけに、消費税増税を狙っています。消費税がいかにも不公平な税で、中小零細企業には厳しい税であるのか、何度も書いてきました。そして輸出大企業にとっては、濡れ手に粟のおいしい税であることも書いてきました。消費税が上がれば、更に非正規雇用が増えていく仕組みも書いてきました。痛んでいる人を助けるのに、苦しんでいる人達から税を雀取り取る。それが消費税の恐さです。このことを是非忘れないでください。騙されないでください。